

芭蕉ゆかりの聖地  
出羽三山での  
俳句大会

# 第62回「奥の細道」 羽黒山全国俳句大会

選者

伊藤 伊那男氏(いとう・いなお)

選者  
対馬 康子氏(つしま・やすこ)

昭和二十四年七月七日、長野県駒ヶ根市に生まれる。  
伊那北高等学校、慶應義塾大学法学部政治学科を  
卒業。仕事は野村證券、オリックス、金融会社経営を  
経た後、令和二年五月まで神田神保町にて酒亭  
「銀漢亭」を経営する。

俳句は昭和五十七年、皆川盤水の「春耕」に入会。  
平成二十三年「銀漢」を創刊主宰。句集に「銀漢」  
(俳人協会新人賞受賞)、「知命なほ」、「然々と」  
(俳人協会賞受賞)、評論に「漂泊の俳人 井上井月」、  
エッセイに「銀漢亭こぼれ噺—そして京都」がある。  
日本文藝家协会会员、俳人協会評議員。

昭和二十八年、香川県高松市生まれ。高松高校、  
日本女子大学国文学科を卒業。のちに夫となる  
西村我尼吾氏に勧められて俳句を始める。  
昭和四十八年、中島斌雄の「麦」に入会。平成二年、  
有馬朗人の「天為」創刊に参加。二十七年文部科学  
大臣賞表彰、荒川区特別功労者表彰を受ける。  
平成三十一年桂信子賞受賞。句集に「愛國」「純情」  
「対馬康子集」「天之」競鳴など。共編著「新撰21」  
「超新撰21」「現代俳句の鑑賞事典」。  
「麦」会長、「天為」最高顧問、現代俳句協会副会長、  
東京都俳句連盟副会長、国際俳句協会理事事。



俳聖芭翁

本年は、投句の応募のみとなります。

『前夜祭』『本大会』『子どもの部』選評・表彰式は、本年は中止となります。